

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
104-19	高等学校	商業科	観光ビジネス	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
東法 190	商業 739	観光ビジネス		

1. 編修の基本方針

- 編修にさいしては、教育基本法に定める「第一章 教育の目的及び理念」を参照し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う教育を推進することを基本方針として、本文の著述を心がけた（教育基本法第二条）。
- 第1章では、学習の全体にかかわる観光及び観光ビジネスの定義や、観光ビジネスを学ぶうえで重要となる観光を構成する要素や観光による効果などについて著述した。また、生徒が学習に興味を持つことができるように、実際の観光ビジネスの事例を扱うよう工夫した。
- 第2章では、観光資源に関する具体的な事例を設け、生徒が各地域の観光資源に興味をもつことができるように工夫した。また、ただ単に観光資源を紹介するだけでなく、観光資源の魅力を高めるための方策や保護と保全の取り組みについて学ぶことができるように配慮した。
- 第3章では、観光政策を担う組織や関連する法律及び条令などについて著述した。また、観光政策を担う組織が、マーケティングをおこなっていることを示唆し、次章へのつながりをもたせるように工夫した。
- 第4章では、観光ビジネスを媒介と観光施設の2つに分けて著述した。また、マーケティングを学んだことがない初学者でも抵抗なく学習に入っていけるようにマーケティングの定義やSWOT分析やSTPといったマーケティングにかかわる理論を著述した。また、障がいをもつ人や高齢者なども観光客になりうることに触れ、さまざまな顧客に対するサービスを考えられるように配慮した。
- 第5章では、体験や交流といった要素に重点を置いたテーマ別観光について著述した。また、観光振興によるまちづくりを推し進めるうえでは、地域の現状に関する調査と分析が重要となることを著述した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
口絵①～⑩	<ul style="list-style-type: none"> ●観光ビジネスを学ぶうえで重要な要素の一つである観光資源の分類を視覚的に理解できるように配慮した（第一号） ●観光に対する興味を引き出すための題材として、観光という言葉の由来や日本における観光のはじまりなどを著述した（第一号・第五号） ●訪日外国人旅行者が言葉の壁を感じないように、さまざまな場でピクトグラムが活用されていることを著述した（第三号） ●日本各地の自治体によるプロモーションの事例を取り上げることで、学習者の居住地域における観光ビジネスの可能性について考えられるように配慮した（第二号・第五号） 	<ul style="list-style-type: none"> ●口絵①～⑥ ●口絵⑦ ●口絵⑧ ●口絵⑨～⑩
第1章「観光とビジネス」	<ul style="list-style-type: none"> ●観光が地域及び地域経済に与える影響について著述した（第一号・第二号） ●観光ビジネスを学ぶうえで必要となるサービスの特性について著述した（第一号） ●観光ビジネスが季節の変動による需要の変動を受けやすいことを著述し、理解を深めるために実際の企業の事例を著述した（第一号） ●消費行動の変化が観光の多様化に与える影響について著述し、実際の企業の事例を著述した（第一号・第四号） ●後に学習する観光資源の保護や保全を意識させるために、観光がもたらす影響が必ずしも良い影響だけではないことを著述した（第一号・第四号） 	<ul style="list-style-type: none"> ●3頁18行目～22行目 ●4頁11行目～15行目 ●5頁コラム ●6頁2行目～7頁14行目 ●7頁コラム ●7頁9行目～14行目

<p>第2章「観光資源」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●観光資源は、学習者が理解しやすいように、事例とともにその特徴や役割などを著述するよう配慮した（第一号） ●観光資源の魅力を高める方策を理解しやすくするため、四つの観点に分類して示した（第一号・第二号） ●学習者が持続可能な観光について考えるための題材としてSDGsのロゴとそれにかかわる事例を著述した（第一号・第二号・第三号・第四号・第五号） 	<ul style="list-style-type: none"> ●12頁～39頁 ●35頁1行目～24行目 ●36頁16行目～37頁9行目 ●37頁コラム
<p>第3章「観光政策」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●観光ビジネスを学ぶうえで、必要と思われる法律や組織などについて著述した（第一号） ●観光立国推進基本法は、学習者が理解しやすいように図にして示した（第一号） ●条例は、学習者が理解しやすいように、事例を著述した（第一号） ●観光振興の組織としてDMO及び観光地域づくり法人について著述した（第一号） 	<ul style="list-style-type: none"> ●42頁～49頁 ●42頁 ●45頁 ●47頁～49頁
<p>第4章「観光ビジネスとマーケティング」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●観光ビジネスの分類は、学習者が理解しやすいように、はじめにイラストを用いて全体図を示した（第一号） ●味覚や嗜好の違い、ライフスタイルの多様化などが新たな観光ビジネスを生み出す可能性を示唆した（第二号） ●訪日外国人旅行者に加え高齢者や障がい者などに対しても観光を楽しむための対応や工夫が必要となることを著述した（第一号・第三号・第四号） ●観光ビジネスを展開するさいには、多くのリスクがともなうことを著述した（第一号・第三号・第四号） 	<ul style="list-style-type: none"> ●52頁 ●86頁10行目～87頁10行目 ●88頁～89頁 ●90頁16行目～91頁5行目 ●94頁～95頁 ●99頁コラム ●103頁コラム ●104頁～105頁 ●106頁～107頁

<p>第5章「観光ビジネスの展開と効果」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域に観光客を呼び込むだけでなく、その地域の住民にとって住みやすいまちを目指すことが、観光振興につながることを著述した（第一号） ●関係人口は、学習者が理解しやすいように図にして示した（第一号） ●ニューツーリズムおよびテーマ別観光について著述した（第一号・第四号・第五号） ●地域の知名度向上や観光客の増加を図るためにはブランドを育成することが重要であることを著述した（第一号・第五号） 	<ul style="list-style-type: none"> ●110 頁 12 行目～18 行目 ●113 頁 ●114 頁～121 頁 ●128 頁 2 行目～15 行目
--------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

<ul style="list-style-type: none"> ●日本における観光の変遷を見開き内に収めて著述することで全体像をつかみやすくした（6 頁～7 頁） ●観光ビジネスに対して新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が大きな影響を及ぼしていることが理解できるように著述した。 ●日本における観光政策の変遷を見開き内に収めて著述することで全体像をつかみやすくした（42 頁～43 頁） ●観光ビジネスの未来を考えることができるように、次世代の交通システムに関するコラムを著述したり、ホスピタリティ産業への情報通信技術の導入について著述したりしている（59 頁、91 頁 18 行目～21 行目）

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
104-19	高等学校	商業科	観光ビジネス	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
190東法	商業739	観光ビジネス		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- 本教科書では、観光とはそもそも何なのかをはじめに説明し、そのうえで観光ビジネスの内容を学習する構成にしている。そのため、初学者でも無理なく学習に入っていくことができる。
- 基本的に、見開きページ内で一つの学習内容を簡潔させ、学習の進度を把握しやすい構成にしている。
- 各学習項目は、タイトルを必ず左ページに配置し、学習のまとまりをわかりやすく提示するとともに、各項目の冒頭には、「ページ内で何を理解すればよいのか」というポイントを明示した。これにより学習者が学習内容を整理しやすい構成としている。
- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、側注に登場するキャラクターに「考えてみよう」「探してみよう」「話し合ってみよう」「書き出してみよう」といった発言をさせて、学習の深化を図っている。
- 重要用語については太字表記を用い、さらには関連する内容を側注に著述している。
- 略語については、適宜原語を掲載するとともに日本語訳を明記し、理解の促進を図っている。
- 章やページをまたいで扱う用語については、参考ページを著述するように配慮している。
- 章末問題では、各単元で学んだ知識を活かして、観光ビジネスに対する理解を深めることができるような問題を著述している。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 観光とビジネス			
第1節 観光とビジネス	(1) 観光とビジネス		
(1) 観光とは	ア 観光ビジネスの特徴	2-3ページ	1
(2) 観光を構成する要素	イ 観光ビジネスの動向		
(3) 観光による効果			
(4) 観光ビジネスとは			
(5) 観光ビジネスの特徴		4-5ページ	1

(6) 季節による需要の変動			
第2節 観光ビジネスの動向			
(1) 消費行動の変化		6-7ページ	1
(2) 訪日旅行の変化			
(3) 海外旅行の動向		8-9ページ	1
(4) 国内旅行の動向			
章末問題		10ページ	1
第2章 観光資源	(2) 観光資源と観光政策		
第1節 観光資源の分類	ア 国内の観光資源		
(1) 観光資源とは			
(2) 観光資源の内容と分類		12-13ページ	1
第2節 国内の観光資源			
(1) 自然とは		14-15ページ	8
(2) 自然の魅力			
(3) 歴史遺産とは		16-17ページ	
(4) 歴史遺産の魅力			
(5) 景勝地とは		18-19ページ	
(6) 景勝地の魅力			
(7) 伝統行事とは		20-21ページ	
(8) 伝統行事の魅力			
(9) 博物館とは		22-23ページ	
(10) 博物館の魅力			
(11) 郷土料理とは		24-25ページ	
(12) 郷土料理の魅力			
(13) 風習とは		26-27ページ	
(14) 風習の魅力			
(15) 伝統工芸とは		28-29ページ	
(16) 伝統工芸の魅力			
観光資源に関する事例①		30-31ページ	1
観光資源に関する事例②		32-33ページ	
第3節 観光資源の魅力を高める方策			
(1) 掘り起こしや磨き上げの必要性			
(2) 掘り起こしや磨き上げの方策		34-35ページ	2
第4節 観光資源の保護と保全	(2) 観光資源と観光政策		
(1) 観光資源の保護	イ 観光資源の保護と保全		
(2) 持続可能な観光		36-37ページ	2
(3) 行政の取り組み			
(4) 企業の取り組み		38-39ページ	1

章末問題		40ページ	1
第3章 観光政策	(2) 観光資源と観光政策		
第1節 観光政策の動向	ウ 観光政策の動向		
(1) 観光政策とは			
(2) さまざまな行政組織		42-43ページ	2
(3) 地方自治体の観光政策			
(4) 観光計画の設定		44-45ページ	1
第2節 観光振興の組織			
(1) 観光協会の活動		46-47ページ	1
(2) 日本におけるDMO登録制度			
(3) 観光地域づくり法人のマネジメント			
(4) 観光地域づくり法人のマーケティング		48-49ページ	2
章末問題		50ページ	1
第4章 観光ビジネスとマーケティング			
第1節 観光ビジネスの主体	(3) 観光ビジネスとマーケティング		
(1) 観光ビジネスの分類	ア 観光ビジネスの主体	52-53ページ	1
(2) 発地側と着地側			
(3) 旅行業とは		54-55ページ	18
(4) 旅行業の扱う商品			
(5) 旅行業の種類		56-57ページ	
(6) 旅行業にかかわる規則			
(7) 旅客輸送業とは		58-59ページ	
(8) 旅客輸送業が機能するために必要なもの			
(9) 航空機の特徴			
(10) 航空会社の業務		60-61ページ	
(11) 航空会社の種類			
(12) 航空機にかかわる規則			
(13) 鉄道の特徴			
(14) 鉄道会社の業務		62-63ページ	
(15) 鉄道にかかわる規則			
(16) バスの特徴			
(17) バス会社の業務		64-65ページ	
(18) バスにかかわる規則			
(19) 旅客船の特徴			
(20) 旅客船会社の業務		66-67ページ	
(21) 旅客船にかかわる規則			

(22) 宿泊業とは			
(23) 宿泊業の役割			
(24) ホテルと旅館の違い		68-69ページ	
(25) 宿泊業にかかわる規則			
(26) ホテルの概要			
(27) ホテルの業務		70-71ページ	
(28) ホテルの種類			
(29) 旅館の概要			
(30) 旅館の業務		72-73ページ	
(31) 旅館の種類			
(32) 飲食業とは			
(33) 飲食業の業務			
(34) さまざまな飲食業		74-75ページ	
(35) 飲食業にかかわる規則			
第2節 観光ビジネスにおけるマーケティングの特徴	(3) 観光ビジネスとマーケティング		
(1) マーケティングとは	イ 観光ビジネスにおけるマーケティングの特徴	76-77ページ	1
(2) マーケティング・ミックスの活用			
(3) 地域の現状分析		78-79ページ	1
(4) 観光情報			
(5) 観光情報の内容		80-81ページ	1
(6) セグメンテーションとターゲティング			
(7) ポジショニング		82-83ページ	1
(8) 観光情報の媒体			
(9) 観光キャンペーンの実施		84-85ページ	1
(10) 観光キャンペーンの課題			
第3節 顧客の理解	(3) 観光ビジネスとマーケティング		
(1) 顧客の特性	ウ 顧客の理解		
(2) 味覚や嗜好の違い		86-87ページ	1
(3) ライフスタイルの多様化			
(4) 国別の訪日外国人旅行者数とその消費額		88-89ページ	1
(5) 世界の文化や習慣			
第4節 顧客サービス	(3) 観光ビジネスとマーケティング		
(1) ホスピタリティについて	エ 顧客サービス		
(2) 接客の重要性		90-91ページ	1
(3) 旅館の接客		92-93ページ	1

(4) 障がい者や高齢者に対する接客		94-95ページ	1
(5) 正しい敬語		96-97ページ	1
(6) 身だしなみ		98-99ページ	
(7) お辞儀		100-101ページ	
(8) 飲食業の接客方法		102-103ページ	
(9) ユニバーサルツーリズム		104-105ページ	
(10) 観光危機		106-107ページ	1
(11) 観光危機管理		108ページ	1
章末問題			
第5章 観光ビジネスの展開と効果			
第1章 観光振興とまちづくりの関係	(4) 観光ビジネスの展開と効果 ア 観光振興とまちづくりとの関係		
(1) 観光振興とまちづくり		110-111ページ	1
(2) 交流人口		112-113ページ	1
(3) 交流人口から関係人口へ		114-121ページ	2
(4) ニューツーリズム			
第2節 観光に関する地域の課題	(4) 観光ビジネスの展開と効果 イ 観光に関する地域の課題		
(1) 地域の現状に関する調査と分析		122-123ページ	1
(2) RESAS を活用した地域の現状分析		124-125ページ	1
(3) 調査報告書の作成			
(4) ブランドコンセプトの共有			
第3節 地域の活性化	(4) 観光ビジネスの展開と効果 ウ 地域の活性化		
(1) 観光資源となりうる資源		126-127ページ	1
(2) 観光商品の企画		128-129ページ	1
(3) ブランド力の向上			
(4) イベントの企画とマネジメント			
章末問題		130ページ	1
		計	70